

中等教育研究開発室年報 第33号 (2020年3月31日発行) 別冊電子版  
2019年度 授業実践事例

社会科・地歴科・公民科 高等学校第Ⅱ学年

理想の大学入試を提案しよう

授業者 阿部 哲久

(校内研究授業)

広島大学附属中・高等学校



## 高等学校 公民科(政治・経済) 学習指導案

指導者 阿部 哲久

<b>日時</b>	令和元年12月4日(水) 第6限 14:20～15:10
<b>場所</b>	第1社会科教室
<b>学年・組</b>	高等学校Ⅱ年政治・経済選択クラス29人(男子14人 女子15人)
<b>単元</b>	理想の大学入試を提案しよう
<b>目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 雇用をめぐる社会の変化と教育の関わり、教育制度に求められる役割について理解する。(知識及び技能)</li> <li>2. 大学入試をめぐる問題の検討を通じて、社会・雇用の変化と教育の役割を考察できる。(思考力、判断力、表現力等)</li> <li>3. グループで協働し、専門知と選択・判断の手掛かりを組み合わせ、解決策を考察できる。(学びに向かう力・人間性等)</li> </ol>

### 指導計画 (全6時間)

- 第一次 学歴社会とはどのようなものか 1時間
- 第二次 社会の変化をふまえて入試制度を考える 1時間
- 第三次 社会と能力についての現在の議論を知る 1時間
- 第四次 大学や教育の役割について考える 1時間
- 第五次 グループの提案を考え、発表する 2時間 (本時2/2)

### 授業について

新科目「公共」を想定して、内容「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」に例示された13項目のうちの「職業選択」を題材とする単元を構想した。2019年に問題となった大学入試への英語民間試験導入延期は大学入試に何を求めるかという問題を含んでいたが、その後十分に議論が深まったとは言い難い。グローバル化を始めとする社会の変化の中で職業選択に当たって求められる能力は高度化し、資質・能力を育成することが教育に求められるようになってきている。そのような中で自分自身の将来像や異なる立場の人達の将来像を考えながら大学の入試を通じて高等教育の意義を考えさせることは、卒業後はほとんど生徒が大学へ進学する本校において「職業選択」の意義を理解するために必要なことであると考えられる。授業では、中学校までに学習した「教育を受ける権利」「平等」「公正」などの知識、概念や、内容A「公共の扉」で学習する「選択・判断の手掛かり」も活用できるようにさせたい。

### 本時の学習指導過程

発問・学習活動	予想される答え・獲得させたい知識	指導上の留意点
<b>■導入</b> ・大学入試への民間試験導入が延期されたが、どんな大学入試が理想だろうか？ ◎理想の大学入試を提案しよう	・公平、など	関心を生かして授業での活動につなげさせるようにする。
<b>■展開①</b> ・大学に行くのはあたりまえか ・学歴社会の実態を知ろう  <b>■展開②</b>	○大学進学率は現在も半数強である ○学歴による格差は存在する ○学歴社会の背景にはメンバーシップ型の日本型雇用があったがグローバル化の中で変わりつつある	スライドを用いて講義形式で行う。

<p>・提案を考えよう</p> <p>これから社会はどのように変化していくだろうか→その中でどのような力が求められるようになるだろうか→その中で大学の役割はどのようなものがあるだろうか→そのための入試とは？ と考えていこう</p>	<p>○雇用のあり方は変わりつつある中で、教育の成果として高度な能力を求められるようになってきている</p> <p>○学歴取得には身近な環境の影響も大きく、格差の再生産は課題として残っているし、新しい学力ではより影響が大きい可能性がある</p>	<p>大学入試の存在を自明としないで考えるようにさせる</p> <p>話し合いが具体的に偏らないよう、社会の変化から考えていくよう助言する</p>
<p>■展開③</p> <p>・社会像と能力像について、現在行われている議論を確認しよう。</p> <p>・このような社会で大学はどのような役割を持っているだろうか。</p> <p>■展開④</p> <p>・大学の役割について、現在行われている議論を確認しよう。</p> <p>・このような大学の入試はどうあるべきだろうか。</p> <p>・議論の経過を発表する。</p>	<p>○グローバル化による人材移動の拡大や国家間の競争がおこり、高度な能力や資質が求められるようになってきた。</p> <p>○高度な学問、研究を行う場所としての大学、研究者を養成する場としての大学＝グローバル化の中で国を支えていく大学</p> <p>○就職に必要な能力を付ける場としての大学、親世代の格差を解消するステップとしての大学＝グローバル化の中で自己実現をできるようにしてくれる大学</p>	<p>適宜追加の文献を貸し出す</p>
<p>■展開⑤</p> <p>・各グループの提案を発表しよう。</p> <p>・各グループの提案に対して相互に質問や意見を交換する。</p>	<p>以下の点を理解し生かしているか相互評価させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化と求められる能力の変化をふまえているか</li> <li>・大学に何を求めるかをふまえているか</li> <li>・大学入試で何を測るべきか検討し、ふまえているか</li> <li>・生まれた条件で不利になることはないか、対策はあるか</li> <li>・学歴にもとづく社会の分断に対する解決策が考慮されているか</li> </ul>	<p>より多くの人の幸福の最大化を目指すと共に、一部の人が負担を引き受けられない等公正さにも配慮するよう指示する</p> <p>個別の答えではなく教育政策に位置づけた議論になるよう助言する。</p> <p>目標をふまえてコメントする。</p>
<p>■終結</p> <p>・議論の整理と自己評価を行う。</p>		<p>期末テスト、テスト返却で行う。</p>
<p><b>主な参考文献</b></p> <p>吉川徹『学歴と格差・不平等』東京大学出版会、2006</p> <p>荻谷剛彦『階層化日本と教育危機』有信堂高文社、2001</p> <p>三宅ほなみ『21世紀型スキル』北大路書房、2014</p>		

## ◎問題の整理

○大学入試が注目されるのはなぜか。

- ・日本がいわゆる①（ ）社会だから
- 入学した大学によって生涯賃金や安定した雇用に影響するから
- =②（ ）型雇用

○大学入試に求められるものは何か。

- ・③（ ）性
- ・生まれによらない④（ ）の実現
- ・測りたい⑤（ ）を正確に測れること

○現在の入試改革はどのようなものか。

- ・⑥（ ）に基づいた能力を測れるようにする
- 英語の4技能、思考・表現力など
- 高校の授業が入試対策になっている（良問が活かされていない）現状を変える意味も
- ・一度きりの受験で決まってしまうのではなく⑦（ ）のチャンス
- ・6年間学んでも話せない英語教育
- ・マークシートによる⑧（ ）型テスト＝暗記学力からの脱却＝AIに負けない人材
- これらの批判に対する答えとしての民間試験，記述式導入

○現在の入試制度はどのようなものか。

- ・基礎的な力を測るテストとしてセンター試験があり，各大学で個別試験と組み合わせている
- ・私立大の中にはセンター試験のみで受験可能などところも，個別入試のみの所もある
- ・大学による差は大きく，社会に求められている役割も様々

◎理想の大学入試制度を考えるために（てがかり）

○これから社会はどのように変化していくだろうか→その中でどのような力が求められるようになるだろうか→その中で大学の役割はどのようなものがあるだろうか

- ・そのような大学の入試はどうあるべきだろうか
- ・入試で測られるべき力とはどのようなものか
- ・どのようにすれば測れるのか
- ・生まれによる格差の影響をどうコントロールするか

※実現可能性も考慮して検討しよう。

## 理想の大学入試を提案しよう

### ◎問題の整理

○大学入試が注目されるのはなぜか。

- ・日本がいわゆる学歴社会だから

→入学した大学によって生涯賃金や安定した雇用に影響するから＝メンバーシップ型雇用

○大学入試に求められるものは何か。

- ・公平性
- ・生まれによらない機会の平等の実現
- ・測りたい能力を正確に測れること

○現在の入試改革はどのようなものか。

- ・新しい学力観に基づいた能力を測れるようにする

→英語の4技能、思考・表現力など

→高校の授業が入試対策になっている（良問が生かされていない）現状を変える意味も

- ・一度きりの受験で決まってしまうのではなく複数回のチャンスを
- ・6年間学んでも話せない英語教育
- ・マークシートによる暗記型テスト＝暗記学力からの脱却＝AIに負けない人材

→これらの批判に対する答えとしての民間試験、記述式導入

○現在の入試制度はどのようなものか。

- ・基礎的な力を測るテストとしてセンター試験があり、各大学で個別試験と組み合わせている
- ・私立大の中にはセンター試験のみで受験可能なところも、個別入試のみの所もある

◎理想の大学入試制度を考えるために（てがかり）

○これから社会はどのように変化していくだろうか

→その中でどのような力が求められるようになるだろうか

- ・入試で測られるべき力とはどのようなものか
- ・どのようにすれば測れるのか
- ・生まれによる格差の影響をどうコントロールするか

→その中で大学の役割はどのようなものがあるだろうか

- ・そのような大学の入試はどうあるべきだろうか

理想の大学入試を提案しよう

○これから社会はどのように変化していくだろうか

○その中でどのような力が求められるようになるだろうか

○その中で大学の役割はどのようなものがあるだろうか

○入試で測られるべき力とはどのようなものか

○そのような大学の入試はどうあるべきだろうか

○生まれによる格差の影響をどうコントロールするか

Ⅱ年（ ）組（ ）番・名前（ ）

### 理想の大学入試を提案しよう

○これから社会はどのように変化していくだろうか

- ・グローバル化が進展し、企業も個人も激しい競争にさらされると同時に、
- ・自己実現の可能性も広がるだろう。

○その中でどのような力が求められるようになるだろうか

- ・いわゆる暗記型の知識を超えた高度な能力や、協調性や自律性などの資質が求められるようになるだろう。

○その中で大学の役割はどのようなものがあるだろうか

- ・高度な学問，研究を行う場所としての大学，研究者を養成する場としての大学
- ・→グローバル化の中で国を支えていく大学
- ・就職に必要な能力を付ける場としての大学，親世代の格差を解消するステップとしての大学
- ・→グローバル化の中で自己実現をできるようにしてくれる大学（もちろん重なる部分もある）

○入試で測られるべき力とはどのようなものか

○これらをふまえた上で下のような社会の声にどう答えるか？

- ◇「一度きりで決めるべきで無い」
- ◇「6年習っても英語がしゃべれるようになっていない」
- ◇「マークシートの暗記型から脱却すべきだ」
- ◇「生まれた環境で有利不利があるのでは？」

○大学の入試はどうあるべきだろうか，社会の声に応えつつあるべき姿を提案しよう。

Ⅱ年（ ）組（ ）番・名前（ ）



理想の大学入試を提案しよう（相互評価シート）

自分の班番号には○をして自己評価を記入

班	項 目	( ) に ABC で記入し空欄にコメント
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化と求められる能力の変化をふまえているか</li> <li>・大学に何を求めるかを検討し、ふまえているか</li> <li>・大学入試で何を測るべきか検討し、ふまえているか</li> <li>・生まれた条件で不利になることはないか、対策はあるか</li> <li>・学歴にもとづく社会の分断に対する解決策が考慮されているか</li> </ul>	<p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化と求められる能力の変化をふまえているか</li> <li>・大学に何を求めるかをふまえているか</li> <li>・大学入試で何を測るべきか検討し、ふまえているか</li> <li>・生まれた条件で不利になることはないか、対策はあるか</li> <li>・学歴にもとづく社会の分断に対する解決策が考慮されているか</li> </ul>	<p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化と求められる能力の変化をふまえているか</li> <li>・大学に何を求めるかをふまえているか</li> <li>・大学入試で何を測るべきか検討し、ふまえているか</li> <li>・生まれた条件で不利になることはないか、対策はあるか</li> <li>・学歴にもとづく社会の分断に対する解決策が考慮されているか</li> </ul>	<p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化と求められる能力の変化をふまえているか</li> <li>・大学に何を求めるかをふまえているか</li> <li>・大学入試で何を測るべきか検討し、ふまえているか</li> <li>・生まれた条件で不利になることはないか、対策はあるか</li> <li>・学歴にもとづく社会の分断に対する解決策が考慮されているか</li> </ul>	<p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化と求められる能力の変化をふまえているか</li> <li>・大学に何を求めるかをふまえているか</li> <li>・大学入試で何を測るべきか検討し、ふまえているか</li> <li>・生まれた条件で不利になることはないか、対策はあるか</li> <li>・学歴にもとづく社会の分断に対する解決策が考慮されているか</li> </ul>	<p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化と求められる能力の変化をふまえているか</li> <li>・大学に何を求めるかをふまえているか</li> <li>・大学入試で何を測るべきか検討し、ふまえているか</li> <li>・生まれた条件で不利になることはないか、対策はあるか</li> <li>・学歴にもとづく社会の分断に対する解決策が考慮されているか</li> </ul>	<p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化と求められる能力の変化をふまえているか</li> <li>・大学に何を求めるかをふまえているか</li> <li>・大学入試で何を測るべきか検討し、ふまえているか</li> <li>・生まれた条件で不利になることはないか、対策はあるか</li> <li>・学歴にもとづく社会の分断に対する解決策が考慮されているか</li> </ul>	<p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p> <p>( )</p>

Ⅱ年 ( ) 組 ( ) 番・名前 ( )

理想の大学入試を提案しよう（まとめ）

社会の変化と求められる能力の変化をどうとらえるか。

大学に何を求めるか。

大学入試で何を測るべきか。

具体的な制度。

生まれた条件で不利にならないような留意。

学歴にもとづく社会の分断に対して。

Ⅱ年（ ）組（ ）番・名前（ ）

## 実践上の留意点

- ・4冊の参考文献を手分けして各自が読んでおくよう指示した。  
 荻谷剛彦「大衆教育者会のゆくえ」「教育と平等」  
 吉川徹「学歴分断社会」「日本の分断」  
 中澤渉「ニッポンの教育」  
 山口慎太郎「家族の幸せの経済学」
- ・各班は4人で構成し、一人一人が別の本を読んで議論できるようにした。
- ・本の選定については、専門書ベースの新書を選び、新書の中でも学術的なものを選択できるようにすることや、新書から専門書へステップアップできるようになることを考慮した。
- ・「公共」については、議論の外形や価値判断だけでは無く知識内容の質をどう向上させるかが議論の質を上げる鍵になりそうである。

